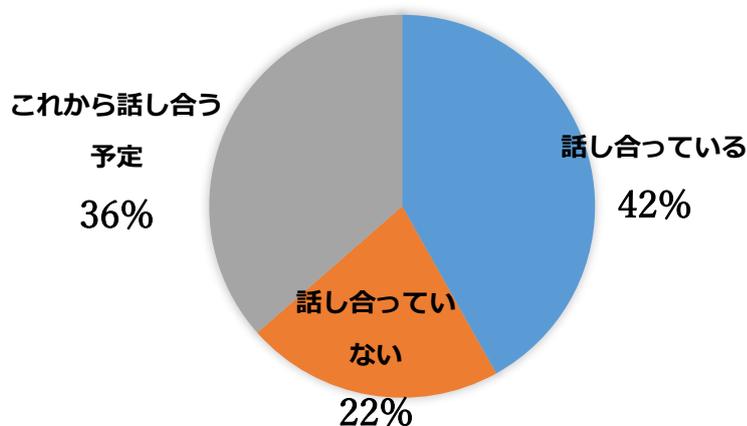
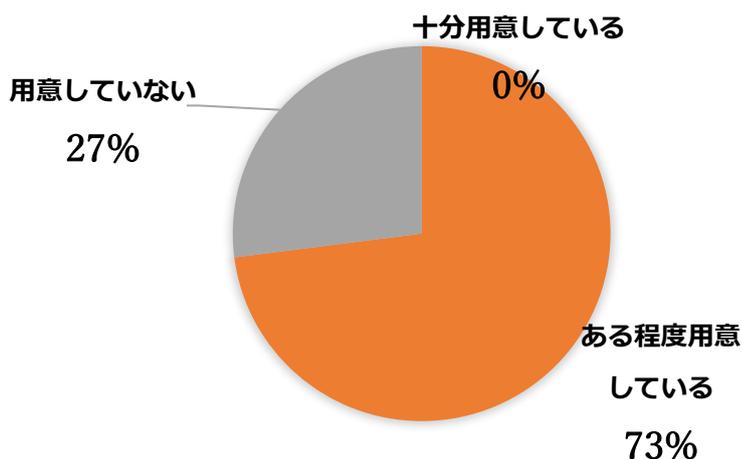


Q1 家で避難場所について話し合っていますか。



子どもが登下校時や塾、おけいこなどで外にいるとき地震に遭った場合に備えて、避難場所を家族で話し合っておくことで、いざという時に探し回ることなく安否も確認しやすくなります。おおよその災害に対応できる避難所を一つ決めておく、というのも一案です。

Q2 防災グッズを用意していますか。



電気やガス、水道などのライフラインが止まった場合に備えて、普段から飲料水や保存の効く食料などを備蓄しておくの良いです。

<食料・飲料・生活必需品などの備蓄の例>

- 飲料水 3日分（1人1日3リットルが目安）
- 非常食 3日分の食料として、ご飯（アルファ米など）、ビスケット、板チョコ、乾パンなど
- トイレトーパー、ティッシュペーパー・マッチ、ろうそく・カセットコンロ など

<その他の防災対策>

- ・保管用食糧の備蓄。
- ・ペットボトルの水や缶詰等を備蓄する。
- ・避難リュックは子ども分も用意する。子どもと一緒にリュックの中身を確認して、子ども自身が物を入れる。
- ・ローリングストック 車両に非常時バックを積む、二階にコンロ等、備蓄品を置く。
- ・防災の日は、シミュレーション目的で、車中泊をして缶詰めご飯にしている。
- ・家具の転倒防止。
- ・冷蔵庫や食器棚の上に、突っ張りをしている。
- ・寝室に靴を置いている。
- ・ベッドサイドに、ランタンを置いている など
- ・寝室に倒れる家具は置かない。
- ・気象情報や荒川の水位は常に気にしている。
- ・天候などの情報に気を配る。

たくさんのご意見
ありがとうございました